

PRESS RELEASE

報道関係者各位



ネイチャーおおさか
公益社団法人 大阪自然環境保全協会

2022年7月1日

・「2025年日本国際博覧会会場の建設整備に対して夢洲の生物多様性の保全と回復のための協議会の設置を求める要望書」

・「2025年日本博覧会環境影響評価準備書に関する市長意見の履行に関する追加要望書」

上記を提出し、当協会が行った住民監査請求の結果に対する見解と、

「わたしたちからのロードマップ骨子」を、HPにて発表しました。

大阪自然環境保全協会(ネイチャーおおさか代表:夏原由博)は、夢洲が大阪府レッドリストにおいて生物多様性ホットスポットAランクであることから、2018年11月に夢洲の環境保全を求める要望書を関係機関に発出したのはじめ、3年余で100回以上にわたり現地調査と多くの提言活動を重ねてきました。こうした活動は、環境影響評価準備書に対する大阪市長意見に反映されました。そして、日本を代表する3つの環境保護団体(日本野鳥の会、日本自然保護協会、WWF ジャパン)も大阪市長意見を早急に具体化することを求める声明を公表しました(2022年3月22日)。しかし、いまだ市長意見に述べられた環境保全は履行されておらず、貴重な生物多様性ホットスポットは失われようとしています。そこで、私たちは住民監査請求を行い(2022年4月7日)、工事の中止を求めました。監査結果(同5月27日)は、工事が既定方針であることを理由に「請求の理由なし」としましたが、その一方で工事实施後において多様な環境を保全・創出する努力が万博協会に求められていることも指摘しました。その監査請求結果に対する私たちからの見解をここに述べると共に、私たちは万博協会によるロードマップの策定が進まない中で、開発の既成事実だけが積み上げられていることに危機感を強く抱き、私たちからのロードマップを発表することとしたことを、ここにご報告いたします。

参考情報

・2025年日本国際博覧会会場の建設整備に対して夢洲の生物多様性の保全と回復を求める要望書

http://www.nature.or.jp/assets/files/ACTION/yumeshima/20220311shichouiken_yobo.pdf

■ オンラインにて説明を調整いたしますので、ご希望がございましたら、ご連絡ください。

■ 本リリースに関するお問合せ

大阪自然環境保全協会

夢洲生きもの調査グループ Tel:06-6242-8720

Email:yumeshima@nature.or.jp